

要約

- 30秒
- タイトル
- 主たる関心の対象（従属変数）は何か
- 関心の対象と関連して注目したもの（独立変数）は何か
- どのような方法でデータを収集したか
- 端的に言って、何が分かったか

問題

- 1分
- なぜその研究をするに至ったのか
- その研究の学問的/社会的意義は何か
- 重要な先行研究がある場合は、そのポイントを紹介
- 仮説あるいは予測（箇条書きで）

方法

- 1分30秒
- 従属変数の測定方法
 - 実験なら実験状況の紹介（写真等），質問紙なら尺度や具体的項目）
- 独立変数の測定・操作方法
 - 実験の場合は刺激画像や音声などなるべくわかりやすく，視覚に訴えるものを
- 参加者の人数，基本的属性
- 複数の実験や調査をした場合は，ひとまとめか個別か，流れがわかりやすい方を選ぶ.

結果

- 1分30秒
- 基本的には「問題」で述べた仮説あるいは予測を順々に検証していく
- 従属変数+独立変数（関連変数）+分析手法をはっきり述べる
- 結果をグラフや表でまず出して「仮説の検証結果」をかぶせるイメージ
- 補足的に分析したことは原則的には後回し

結論

- 30秒
- 既知の限界や問題点についてさらっと（あまり反省しすぎない!）
- 最後に，この研究で分かった一番大切なことを，堂々と伝える
- 最後のスライドは「これが言いたい」ことをまとめた1枚にする（引用文献や謝辞等にしなない!）

2016 年度版

卒論口頭試問にあたっての注意点

プレゼン時間は 5 分です。

- ◇ 基本的には論文の「要約および結論」に必要な情報(調査や実験の詳細, 分析結果を示す図表など)を肉付けしたものを作ると考えればよいでしょう。というか, 5 分に収めることを考えればそれがいっぱい입니다。
- ◇ 短すぎても長すぎてもよくありませんが, 特に, 長すぎる方がエレガントさに欠けます。4 分 30 秒以上, 5 分 30 秒以内に話をまとめられるように, 予行演習を繰り返してください。
- ◇ まずは台本を作って, それを読み上げる練習をしましょう。しかし「読み上げているのか, 話しているのか」は, 聞き手にはすぐ分かります。当然「話している」方が印象はよいです。練習を繰り返せば「台本に沿いつつ, 適当に話す」ことができるようになるはずですが, 最初から適当に, というのは, よほど話すスキルがある人でない限りはおそらく難しいでしょう。めんどくさがらずに, 練習に次ぐ練習, です。
- ◇ 質問項目や実験場面・素材や図表などで, 手元に配布した方が参照しやすいものについては, 印刷資料を作成してください。プレゼンスライドをそのまま配布してもよいかもしれませんが, ささっとごまかして終わらせてしまおう, と考えるのではなく, なるべくよく理解してもらうための工夫を惜しまないでください。その際に想定する聴衆は, 主査や副査よりもむしろ, あなたの論文内容をまったく知らないがその場において聴いてくださっている, 他の先生方です。

あなたのプレゼン終了後, まず, 副査の先生から質問があります。

- ◇ まずは, 落ち着いて内容をよく聞き, なるべく「的を射た」かつ「簡潔な」回答を探索しましょう。頭を整理してから答え始める方がよく, そのために答え始めるのがワンテンポくらい遅れてもかまいません。何か言っておけば時間稼ぎになる, とダラダラと話し始める人がいますが, 結局脱線して答になっていないようなものになることが多く, 印象がよくありませんし, そもそも時間の無駄遣いです。
- ◇ 質問者の意図がよく分からない質問も出てくるかもしれません。その場合は「ただいまのご質問は, * * * * という意味だと考えてよいですか?」と聞き返してかまいません。単に「もう一度お願いします」とだけ言って聞き返すのはなるべく避けた方がよいですが, 分からないけどとりあえず答っぽいのを言ってみる, というよりはマシです。
- ◇ あなたがプレゼンに含めなかった論文の内容についての質問がなされる場合もあります。必ず卒論本体を手元に置き, 参照しながら適切に答えられるよう努力してください。プレゼンの中に含めようと思ったが時間の制約上無理だった, というスライドは, 消さずに残しておく, という時に役立つ場合があります。「そういうことを質問されると思って用意してありましたよ」とそのスライドを出すと, だいぶカッコイイです。
- ◇ あなたがおこなった研究で手がけた範囲を超えるようなことを問われる場合もあるかもしれません。その場合は「この研究で得られたデータから直接お答えすることは難しいのですが, おそらく * * * * ではないでしょうか。なぜなら + + + + だからです。」というように, 何がしかの推測を述べる方が, そのテーマについてよく考えているということが伝わって好ましいでしょう。

ともあれ, 口頭試問では, あなたが自分自身の研究について, 長所も短所もひっくるめて, すべてを理解しているかどうか問われるのだと考えてください。あなたが自分で選んだ研究テーマを愛していれば, それができるはずですが, この研究について何もかもを, この場で一番知っているのは私だ, という強い確信があれば, きっと充実したよい口頭試問になるはずですが, 学生生活の総仕上げですから, 惜しまず全力を尽くしてください。

よく服装について質問されますが, 清潔な身なりであれば「私服」でかまいません。スーツが着たい人はお好きにどうぞ。